



みみだより No.38

鳥取聾学校ひまわり分校

聴能担当

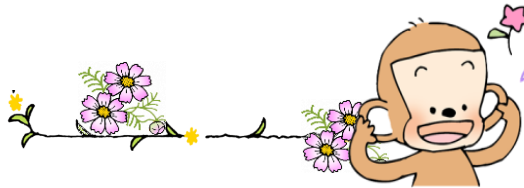
R4.9.9

文責：野口

2学期がスタートし、子どもたちの元気な声、すてきな笑顔がひまわり分校に戻ってきました。

コロナ禍ではありますが、今年の夏は行動制限がありませんでしたので、子どもたちからいろいろな夏の思い出をきくことができました。2学期もたくさんの方にチャレンジしていきたいと思います。

ところで、9月9日は人工内耳の日です。(補聴器の日は、6月6日です。)そして10日は十五夜ですね。まんまるお月様が見られるとよいですね。



伝えたいこと
～きこえない(きこえにくい)子どもが
自分らしく生きるために～

8月の職員研修で社会福祉法人十神 やすぎ保育園園長(前松江ろう学校校長)福島朗博氏を講師にお迎えし、「聴覚障がい教育において伝えたいこと～きこえない(きこえにくい)子どもが自分らしく生きるために～」というテーマの下、ご講演をききました。

その中で、保護者の方へぜひお伝えしたいと思ったことを、簡単ですが紹介します。

※自分らしく主体的に生きる力ために

→きこえない子どもが社会にでるときにつけておきたい力

○日本語力・学力…読み書きの力、自分のことを周囲や状況に合わせて説明できる力、読書力

○社会力

○人間力…自己理解、障がい認識、保護者の障がい受容

○学びに向かう力・人間性 (非認知能力) …様々なことへの意欲・最後までやりぬく・粘り強さ、気持ちをコントロールする・思いやり・安定した情緒、将来離職しない力、安定、気持ちのコントロール、

意欲、折れない心、耐性等へもつながる！

※意欲は、気持ちの安定や安心感の上にのっかる！

そのために、今できること…いつもの会話に少し意識して取り入れてみませんか？

☆親子で早く双方向のやりとりができるように☆

「見て分かる♪伝わる♪」…手話は有効！！

- 「ちょうだい」「あけて」「～したい」「ほしい」「すき」「おねがい」「いいよ」「いや」「きらい」「もっと」など要求
- 「おわり」「まって」「かたづけ」「きれい」「じゅんばん」「おなじ」「ありがとう」
- 「そうそう」(おなじ)「～したいのね」「いいね」などの共感
- 「なに」「だれ」「どこ」「いくつ」などの疑問・応答
- 「～だから〇〇してね」「～のとき〇〇するよ」
「どうして？」－「～だから」などの因果関係⇒折り合いの心を育てる。
- 「(人が) すき」「がまん」などの抽象的概念

